

**製品名: CYFIP2 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09616**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	150+45kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CYFIP2
別名	Cytoplasmic FMR1-interacting protein 2 (p53-inducible protein 121)
遺伝子 ID	26999.0
SwissProt ID	Q96F07
免疫原	CYFIP2 由来の合成ペプチド (アミノ酸範囲: 1171-1220)

**背景**

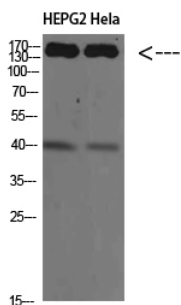
疾患: 多発性硬化症患者の CD4 陽性 T リンパ球において、タンパク質レベルで有意に増加している。機能: T細胞接着および p53 依存性アポトーシス誘導に関与する。RNA には結合しない。誘導: p53 による。RNA 編集: 部分的に編集される。編集は脳特異的で

あると思われる。類似性: CYFIPファミリーに属する。細胞内局在: 核周縁領域で高発現する。シナプトソームに豊富に存在する。レプトマイシン B による処理は核への移行を誘発する。サブユニット: FMR1、FXR1、FXR2 と相互作用する。ABI2、CYFIP2、C3orf10/HSPC300、NCKAP1、および WASF1/WAVE1 からなる WAVE1 複合体の構成要素である。CYFIP2 は活性化 RAC1 に結合し、複合体を解離させて活性化 WASF1 を放出します。この複合体は NCK1 によっても活性化されます。疾患: 多発性硬化症患者の CD4 陽性 T リンパ球において、タンパク質レベルで有意に発現が上昇しています。機能: T 細胞接着および p53 依存性アポトーシス誘導に関与しています。RNA には結合しません。誘導: p53 による。RNA 編集: 部分的に編集されます。編集は脳特異的であると考えられます。類似性: CYFIPファミリーに属します。細胞内局在: 核周縁領域で高発現しています。シナプトソームに豊富に存在します。レプトマイシン B による処理は核への移行を引き起こします。サブユニット: FMR1、FXR1、および FXR2 と相互作用します。ABI2、CYFIP2、C3orf10/HSPC300、NCKAP1、WASF1/WAVE1 からなる WAVE1 複合体の構成要素。CYFIP2 は活性化 RAC1 に結合し、複合体を解離させて活性化 WASF1 を放出する。この複合体は NCK1 によっても活性化される。

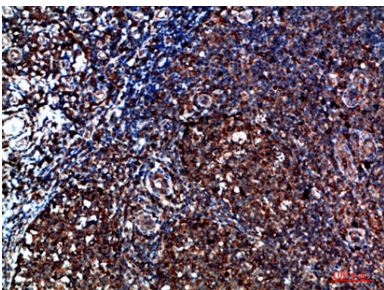
## 研究分野

アクチンと細胞骨格を調節します。

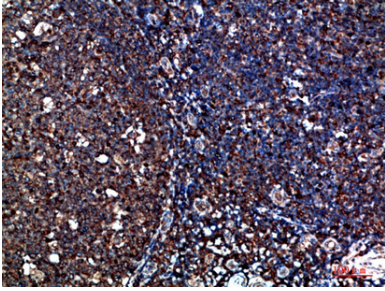
## 画像データ



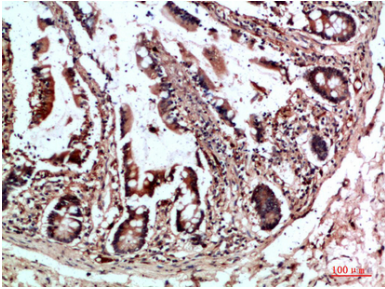
CYFIP2 ポリクローナル抗体 (1:500 希釈) を用いた HEPG2 Hela 細胞のウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



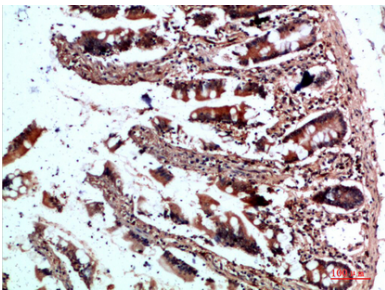
パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された



パラフィン包埋ヒト結腸の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された